

平和を考える 「小中学生作文集第三十一集」の発行によせて

沼 津 市

沼 津 市 教 育 委 員 会

沼津市は、昭和六十二年三月二十日に、市議会の議決を得て「核兵器廃絶平和都市宣言」を行いました。核兵器の廃絶は、世界の人々の共通の願いであり、核戦争の危機に対する市民及び市議会の意味を踏まえて、平和への願いをあらわしたものです。

以来、この宣言の趣旨について市民の理解と協力をいただくために、市内の要所にモニュメントを設置するほか、平和映画の上映会や「原爆と人間」のパネル展を開催してまいりました。

この作文集は、市内の小中学生が、授業や各メディア、身近な人の体験談などから、平和について感じたことを作文や詩で表現した作品を掲載したものであり、本年も多くの作品が寄せられ、第三十一集として発刊しました。

時代は昭和から平成、さらには令和へと移り変わり、戦争を経験した方々から直接お話を伺える機会は少なくなりました。

このような中、戦争の体験談に耳を傾けたり、戦争に関する作品に触れたり、さらには戦争にゆかりの深い場所を訪ねたりする中で、何気ない日々の暮らしに感謝し、平和の大切さや尊さを素直に表現している作品が数多くありました。

また、次の世代へ平和を引き継ぐために、今、自分に出来ることは何か、取り組まなければならないことは何かということ真剣に考え、体現しようとしている作品も多数見受けられました。恒久平和の実現には、一人一人の努力や取り組みが必要です。令和の初めに皆さんが抱いた平和に対する真つすぐな想いを胸に、平和な未来を築いていかれることを願って止みません。

どうか、一人でも多くの方々が、この作文集を読んでくださるようお願いしております。